

第2学年2組 学級活動（3）学習指導案

【日時】令和6年7月23日(火) 13:30～14:15 【場所】2年2組教室 【指導者】宮崎 剛

本授業の参観の視点

「なりたい自分」になるために必要なことやできることについて、各教科等の学びと関連付けたり、友達と話し合ったりしながら考え、夏休みでの成長を目指して自分に合った目標を意思決定する児童の姿をご覧ください。

1 題材名 夏休み大きくせん ～今のじぶんをレベルアップ！～

2 題材の構想

(1) 題材について

本題材は、学級活動（3）一人一人のキャリア形成と自己実現「ア 現在や将来に希望や目標をもって生きる意欲や態度の形成」に関わる活動である。夏休みは、日常生活とは異なり、家庭で過ごす時間が増えてくる。家族と一緒に過ごしたり、習い事や自分の好きなことをして過ごしたりするなど、児童一人一人の生活スタイルは異なっている。そのような夏休みという期間に、一人一人が見通しをもち、計画的に過ごすことは2年生の発達段階を考えると、少し困難なことである。そこで、夏休み前であるこの時期に、これまでの経験や自分の成長を振り返り、「なりたい自分」に向けて全員が自己目標を立て実践していくことは、夏休みをより有意義で、充実したものにしていくと考える。また、実践を通して自分の成長やよさを実感することは、夏休み明けからの学校生活だけでなく、その先の将来に向けて希望や目標をもって生きようとする態度の育成にもつながっていくと考える。

(2) 児童について

本学級の児童は4月から学級活動（2）では、「スッキリ大作戦（整理整頓）」、学級活動（3）では、「こんな2年生になりたい」、「ピカピカ大作戦（掃除）」を題材に、話し合いを通して自己目標を意思決定し、実践、振り返りを行ってきた。授業を重ねる中で、話し合いや友達との交流を通して、具体的な自己目標を設定することが少しずつできるようになってきた。また、実践では、自分から進んで整理整頓をしたり、友達と協力して掃除をしたりするなど、自己目標の達成に向けて主体的に活動する姿が見られた。その一方、最初は進んで活動するものの、次第に実践意欲が低下し、活動が停滞する児童も2割程度見られた。このことから、より強い意志をもって夏休みに実践することができるよう、題材を自分事としてしっかり捉え、「なりたい自分」に向けて、明確で切実感のある自己目標を設定できるようにする必要があると言える。夏休みの実践を通して、自分の成長を感じ、達成感を味わうことができるようにするとともに、希望や目標をもつことの意義にも気付くことができるようにしていきたい。

(3) 指導について

指導に当たっては、まず事前の活動で4月から7月までの学校生活の様子や学習したことを学級全体で振り返る。その後、「できるようになったこと」、「もっと頑張りたいこと」の2つの観点で自分のこれまでの成長を振り返る活動を行う。それらを基に夏休み明けの「なりたい自分」の姿を具体的に考え、本時の学習につなげていくことができるようにする。

本時の学習では、「つかむ」段階で、事前の活動で児童が記入した学習面、生活面の振り返りをまとめた表を提示し、「なりたい自分を目指して夏休みの目標を立てる」という課題をつかめるようにする。その後、今後の学校行事や学習内容を知らせたり、1年生の時に担任だった先生からの応援メッセージを流したりすることで、児童の実践意欲を引き出して、次の活動につなげるようにする。「さぐる」段階では、「なりたい自分」に向けて何が必要かを調べたり考えたりする際に参考にできるように、附属小学校の先生などにインタビューした動画や他教科等の授業での板書やノートの写真をタブレットで見ることができるようにする。それらの内容を基に、「なりたい自分」を実現するために必要なことや努力すべきことがあることに気付いたり、具体的に「なりたい自分」の姿をイメージしたりすることができるようにしたい。「見付ける」段階では、「なりたい自分」に向けて必要なことを身に付けるために、夏休みにどのような取組ができそうかをグループで話し合うことで、多様な考えを引き出していく。「決める」段階では、①具体的で達成できたか判断できるか、②夏休みに続けて取り組むことができるか、の2つ

の視点を提示し、自己目標を設定することができるようにする。その後、同じグループの友達と自己目標に対してアドバイスや応援メッセージを送り合う時間を設けることで、より明確で切実感をもった自己目標となるようにするとともに、実践への意欲を引き出していきたい。

事後の活動では、自己目標への取組状況を夏休みに記録したものを基に、自分がどのように成長できたか振り返り、グループ毎に自分たちの実践や成長を報告し合う場を設ける。「なりたい自分」に向けて自己目標を意思決定し、実践してきたことで、自分が成長できたことへの達成感を味わうことができるようにしたい。

(4) 期待する「回遊する学び」について

本題材及び本時における児童の姿を小学校全体テーマの「回遊する学び」に関わる内容と資質・能力に関連付けたものが、表1である。

表1 期待する「回遊する学び」に関わる内容と資質・能力、児童の姿

	内容	資質・能力	児童の姿
ステージA 「題材・領域」	学級活動(3) 「ピカピカ大きくせん」	・「なりたい自分」について考え、自分に合った目標を意思決定している。 【思考力、判断力、表現力等】	・2つの視点を考えながら具体的な自己目標を考えている。
ステージB 「同教科」	学級活動(1) 「たのしめ2の2、まおさんようこそ会」	・課題を発見し、解決方法について話し合っている。 【思考力、判断力、表現力等】	・友達と話し合い、よりよい取組を考えている。
ステージC 「他教科」	国語科 「本はともだち」 (光村図書)	・進んで読書に親しもうとしている。 【学びに向かう力、人間性等】	・読んでみたい本を選び、読書に進んで取り組もうと意欲を高めている。 ・色々な種類の本を選び、進んで読書に親しんでいる。
	体育科 「かけっこ遊び」	・走の運動遊びに進んで取り組もうとしている。 【学びに向かう力、人間性等】	・早く走るポイントを身につけることができるよう、自分で練習に取り組もうと意欲を高めている。 ・時間を決め、進んで練習に取り組んでいる。
	生活科 「やさいとふれ合おう」	・植物への親しみをもち、大切にしようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】	・植物のお世話の方法を振り返り、家でも実践しようと思意欲を高めている。 ・これまでの経験を生かし、進んで植物のお世話を行っている。
	道徳科 C「勤労、公共の精神」 「家族愛、家庭生活の充実」	・働くことのよさを知り、みんなのために進んで働こうとしている。 【道徳的実践意欲】 ・家族を思いやり、進んで家の手伝いなどをして、家族の役に立とうとしている。 【道徳的実践意欲】	・家族のことを思いやり、進んで手伝いをしようと思意欲を高めている。
ステージD 「実生活・実社会」	目標達成に向けた努力	・自己目標の達成を目指して、主体的に行動しようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】	・目標達成のために努力した経験を想起し、夏休みに主体的に取り組んでいる。

他者の発想を生かしながら具体的な自己目標を設定することができるようにしていく。「さぐる」、「見付ける」段階で、児童が夏休み明けに思い描いている「なりたい自分」を種類ごとに分け、教師が意図的にグルーピングを行い、友達と話し合いながら必要なことや頑張りたいことを考えることができるようにする。友達と話し合いながら考えることで多様な考えを引き出し、「なりたい自分」に向けて、より具体的な自己目標の設定へとつながっていくと考える。さらに、「決める」段階において、自己目標を同じグループの友達と交流する時間や応援メッセージを送り合う時間を設ける。同じ種類の「なりたい自分」を思い描いている友達とアドバイスをし合ったり、夏休みの実践に向けて励まし合ったりすることで、より明確で切実感をもった自己目標を設定することができるのと同時に、夏休みに向けて実践への意欲を高めることができると考える。

3 題材の目標と評価規準

(1) 題材の目標

希望や目標をもつことの意義を理解し、「なりたい自分」になるための目標を立て、主体的に実践することができるようにする。

(2) 評価規準

ア 希望や目標をもつことの意義を理解し、自己実現を図るために必要な知識や行動の仕方を身に付けている。 【知識・技能】

イ 希望や目標をもつことについての課題を知り、解決方法などについて話し合い、自分に合った目標を意思決定し、実践している。 【思考・判断・表現】

ウ 見通しをもったり振り返ったりしながら、自己のよさを生かし、他者と協働して、自己実現に向けて進んで行動しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】

4 題材の指導計画（全1時間 本時1／1時間目）

次	時	主な学習活動（○）	指導上の留意点（・）	評価規準（◆）【観点】	回遊
事前の活動	課外	○7月までの自分の成長を振り返り、夏休み明けの「なりたい自分」を考え、ポートフォリオに記入する。	・学級活動での実践や学校生活、学習の内容を振り返ることで、夏休み明けの「なりたい自分」の姿について具体的に考えることができるようにする。	◆希望や目標をもつことの意義を理解することができる。 【知・技】	D
話し合い活動	1本時	○「なりたい自分」に必要なことについて調べる。 ○これから取り組む目標を意思決定する。	・「なりたい自分」に合ったインタビュー動画等を見ることができるようにし、どのようなことをする必要があるのであるのかを考える際に参考にできるようにする。 ・自己目標を設定する視点を提示し、他者と交流することで、より明確で切実感のある自己目標を設定できるようにする。	◆「なりたい自分」に向けて、今の自分に必要なことを考え、自分に合った目標を意思決定している。 【思・判・表】	A B C 他者
事後の活動	課外	○自己目標の達成に向けて実践する。 ○「夏休みほうこく会」を行い、実践を通じた自分の成長について考える。	・ポートフォリオに自分が達成した状況を記入することができるよう、日々の振り返りの欄を設け、夏休みに記入するよう言葉かけをする。 ・実践を報告し合う場を設定し、夏休みでの自分の成長を感じることができるようにするとともに、これからの学校生活に生かしていこうと意欲をもつことができるようにする。	◆「なりたい自分」を目指して設定した自己目標に取り組むことができる。 【知・技】 ◆実践を振り返り、現在及び将来に向けての学校生活や日常生活に生かそうとしている。 【主】	C D

5 本時の指導（1／1）

(1) 指導目標

夏休み明けの「なりたい自分」の姿を想起し、そのために必要なことについて話し合い、自分に合った目標を意思決定することができるようにする。

(2) 評価規準

イ 「なりたい自分」に向けて、今の自分に必要なことを考え、自分に合った目標を意思決定している。

【思考・判断・表現】

(3) 展開（波線部は「回遊する学び」に関わる手立て）

学習活動と児童の反応（□□□□）	教師の働きかけと形成的評価（◆）
<p>1 本時のめあてをつかむ。（5分）</p> <ul style="list-style-type: none"> 夏休みが終わったら、色んな行事があるな。「なりたい自分」を目指してどんなことをしようかな。 1年生の頃の担任の先生が応援してくれて嬉しいな。成長した姿を見せたいな。 	<p>1-(1) 事前の活動で児童が記入した学習面、生活面の振り返りをまとめた表を提示することで、課題をつかみやすくする。</p> <p>1-(2) 夏休み明けの学習内容や学校行事を伝えたり、前担任の先生からのメッセージ動画を流したりすることで、題材への関心を高める。</p>
<p>「なりたいじぶん」になるために、夏休みにがんばりたいことをきめよう。</p>	
<p>2 「なりたい自分」に向けて必要なことを個人やグループで探る。（15分）</p> <ul style="list-style-type: none"> 本をたくさん読むと色んな力がつくんだな。集中して読むことが大切そうだな。 好きな漢字をもっと得意にするためには、これまで習った漢字を使えるようになる必要があるのか。習った漢字を使うって、どんなことをしたらいいのかな。 かけっこでもっと速くなるためには、かけっこ遊びでしてみたいに、早くなるポイントを身に付けることが大切だ。 もっと野菜のお世話が上手になるためには、○○さんがしていたように、水やりだけでなく、肥料をあげたり、脇芽を取ったり、普段からお世話をたくさんすることが大切だな。 手伝いは掃除名人と同じでみんなのことを考えて取り組むことが大切だな。 	<p>2-(1) 事前の活動でポートフォリオに記入した、7月までの振り返りや夏休み明けの「なりたい自分」を見るよう促し、調べる目的を明確にする。</p> <p>2-(2) 「なりたい自分」に関連するインタビュー動画や他教科の板書等の資料を見るよう促し、「なりたい自分」に向けて必要なことに気付いたり、考えを広げたりすることができるようにする。(C)</p> <p>2-(3) これまでの各教科の学びの中で生かせることはないかを問いかけ、考えを広げることができるようにする。(C)</p> <p>2-(4) グループで話し合い、考えたことをグループシートにまとめるよう、言葉かけをする。(B他者)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>◆ 「なりたい自分」を目指すために必要なことを考えているか。 (発言、グループシート)【思・判・表】 B 「なりたい自分」に向けて、どのようなことが必要か考えている。 C→ 「なりたい自分」に合ったインタビュー動画や資料を見るよう促し、どのようなことが必要と思うか一緒に考える。</p> </div>
<p>3 夏休みに取り組みたいことについて考える。（15分）</p> <p>(1) 個人やグループで、夏休みの取組を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> 読書をする時間を決めればいいんじゃないかな。 漢字が今より得意になるためには、習った漢字を使って日記を書くとかはどうかな。 今よりも生き物のお世話が上手になるために、図鑑で生き物のことを調べて、育て方に詳しくなればいいんじゃないかな。 手伝いは、家族のことを考えて、自分ができそうなことを一つ決めてすればいいんじゃないかな。 <p>(2) 全体で共有する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 夏休みだからこそできそうなことが色々あるな。 自分だったら夏休みどんなことができるだろう。 	<p>3-(1) 「なりたい自分」に必要なことを身に付けるためには、夏休みにどのようなことに取り組めばいいのかを問いかけ、具体的な取組を考えることができるようにする。</p> <p>3-(2) これまでの各教科の学びで生かせることはないかを問いかけ、具体的な取組へとつながるようにする。(C)</p> <p>3-(3) 個人やグループごとに、話し合っ出てきた取組は付箋に記入するよう促し、自己目標を設定する際に参考にできるようにする。</p> <p>3-(4) 他のグループの取組に対してアドバイスをを行う時間を設定し、違う視点からも考えを広げることができるようにする。(B他者)</p> <p>3-(5) 全体で共有する際に、「いつ」「何を」「どのようにする」の視点が入っている取組を取り上げ、自己目標を設定する際に生かすことができるようにする。(A)</p>
<p>4 自己目標を意思決定し、実践への意欲を高める。（10分）</p> <ul style="list-style-type: none"> 午前中に、借りた本や買った本を30分読む。 夕方に、習った漢字を使ってその日の出来事を日記に書く。 朝と夕方に、花への水やりを忘れずにする。元気がない時は、肥料を与える。 夜ご飯を食べた後、使った食器をきれいに洗う。 	<p>4-(1) 自己目標を設定する際には、①「いつ」「何を」「どのようにする」が分かるか、②夏休みに続けることができるものかという2つの視点を提示し、具体的な目標を考えることができるようにする。(A)</p> <p>4-(2) グループで2つの視点を満たしているかアドバイスをし合う場を設け、自己目標の内容を吟味することができるようにする。(他者)</p> <p>4-(3) グループ内で応援メッセージを書き合う場を設け、実践への意欲を高めることができるようにする。(他者)</p> <p>4-(4) 夏休み明けに報告会を開くことを伝え、実践への意欲を高めることができるようにする。</p>